カサロック〈FRC製L型擁壁天端勾配調整用ブロック〉

NETIS掲載終了 QS-090018-A　FRC

特許登録第4933489号

従来、現場打ちコンクリートで構築していた、L 型擁壁の嵩上げ部分をプレキャスト化しました。

●特長

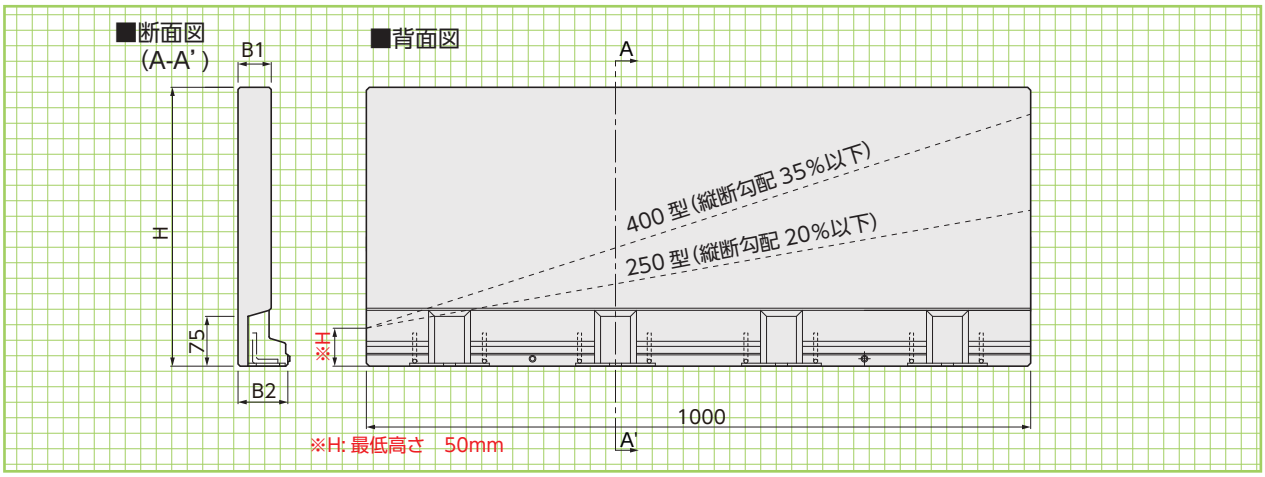
1.高強度繊維強化セメント製。
・設計基準強度=50N/mm²

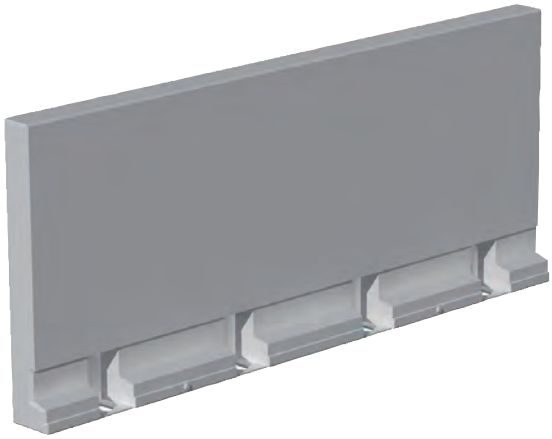
2.型枠の組立、撤去、コンクリート打設、養生作業が不要なため、製品設置後即埋め戻し作業が行え、大幅な工期短縮が可能です。

3.高低差が激しい場合でも、L型擁壁の背面で作業が行えるため、前面の足場が不要で、かつ安全に施工できます。

※ガードレール等の衝突荷重については対応不可です。
ガードパイプ等の設置についてはご相談ください。

基本形状図
形状・寸法
重量表





■寸法・重量表

呼　称	寸　法(mm)			参考重量 (kg)
	B1	B2	H	
250 型	50	75	270	33
400 型	50	75	420	51

※付属品
ボルト、座金(M12)
止水テープ

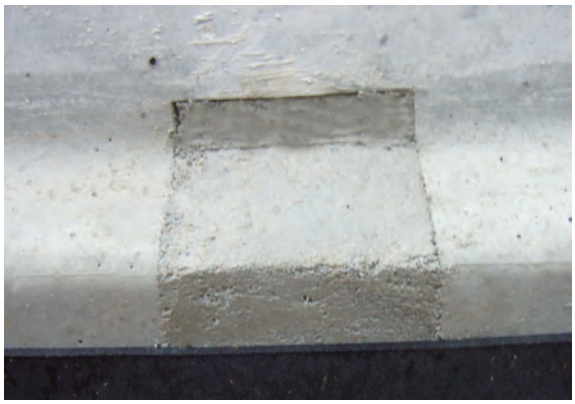
1.カサロックをL型擁壁に仮留めし、墨出し(高さの決定)
を行います。

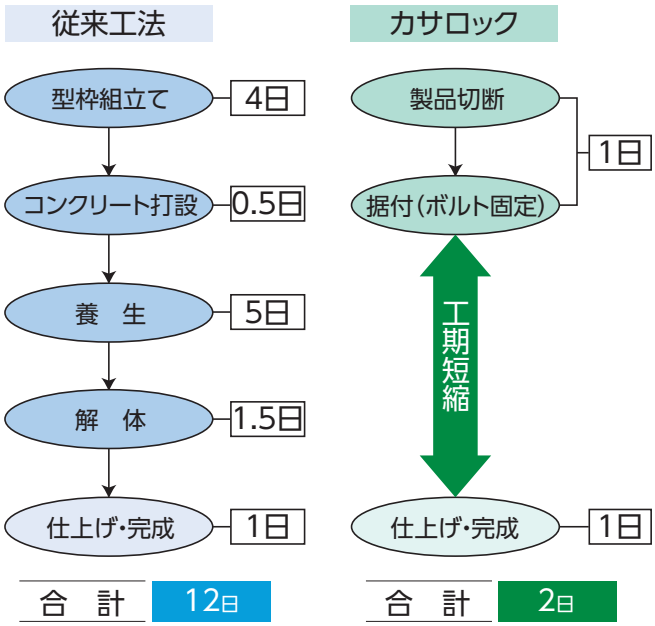
2.角材等をカサロックの下に敷き、水平になるようにし、
エンジンカッターで前面側から切断します。

3.L型擁壁にカサロックを据え、付属のボルト、座金を使用し
ラチェット等で締め付けて固定します。

4.切断面をサンダー等で仕上げます。

5.カサロック同士、カサロックとL型擁壁の接合部(背面側)
に付属の止水テープを貼り、ボルト部をモルタルで埋めます。



6.その後、L型擁壁の埋戻しと同様に、プレートランマーで
締め固めます。

工期比較(施工延長70.0mの場合)